

◆Hi ダイナミック制震工法 柱取付型オイルダンパー◆

地震に効果的に作用するように既存の建物の床面、壁面、天井面を壊し横架材である土台、梁に金物、接続パネルを取り付け地震の揺れをダンパーに伝え建物の揺れを抑えていました。今回の新商品である「柱取付型オイルダンパー」は工事中の施主のストレスを少しでも軽減できるように既存の床面、天井面を壊さずに工事が出来る工法である。

<取付工事の流れ>

- 1 設置する壁面の巾木材の上面から天井の廻り縁の下面の壁を剥がす。
- 2 両サイドの柱の内側に柱受け金物をビスにて取り付ける。(上下両サイド)
- 3 上下の金物間 H=寸法に合わせて接続パネルをカットする。
- 4 柱に取り付けた金物に接続パネルをビス固定する。
- 5 パネルの真ん中の位置(中心部分)にオイルダンパーを取り付ける。
- 6 剥がした部分の壁面を復旧する。

※解体、復旧手間が減り工事費、工期が短縮できるのが大きな特徴である。

—新製品—

■柱取付型■



- ・床面、天井面の解体が不要。
- ・壁の片側からだけで施工が出来ます。
- ・(一財)日本建築防災協会技術評価取得予定製品です

—従来製品—

内壁設置型



- ・既存の床、壁、天井を撤去し壁内に取り付けます。
- ・内壁のリフォームの際に併せての取り付けがお薦めです。
- ・壁の片側からだけで施工が出来ます。
- ・(一財)日本建築防災協会技術評価取得製品です